

平成31年度前期「森林保護員による保全活動」がスタート

～ 大分森林管理署管内6名 大分西部森林管理署管内4名 両署長から辞令交付 ～

平成31年4月17日、早春の芽吹が始まったばかりの標高1,000mの大分県九重町の長者原において、平成31年度前期(4月17日～7月31日)森林保護員による保全活動の出発式を行いました。

はじめに、坂本大分森林管理署長から6名、益田大分西部森林管理署長から4名の森林保護員に辞令が交付され、登山マナーの啓発、標識、登山道施設の状況把握と簡易な補修など保全活動がスタートしました。森林保護員は、7月末までの約3か月間(土曜日、日曜日)、久住山、大船山などの標高1,700mを超えるくじゅう山地域の国有林を対象として保全活動を実施することとなります。

続いて、両森林管理署を代表して、坂本大分森林管理署長から「森林の持つ水資源の涵養等、公益的な機能の発揮に向け取組を進めているところですが、皆さんの活動はその一環となる森林環境保全の重要な取り組みです。くじゅう連山は、1,700m級の山々が連なり希少な高山植物を育む貴重な地域です。皆さんの活動で、国有林を利用する方々に自然の素晴らしさを伝えてください。」と挨拶を述べました。

この日、任命を受けた森林保護員の皆さんは出発式を終え、早速、春の登山シーズンを待ちかねてくじゅう地域を訪れた登山者にチラシを配布し、登山マナーアップの協力を呼びかけました。

また、活動途中の木道で出会った、関東からくじゅうに訪れた方は、「くじゅうの自然環境は素晴らしいですね」と語られる等、この日は天候にも恵まれた青空の下、そびえ立つくじゅう連山の自然を満喫されていました。

これから、くじゅう連山には多くの登山者が訪れます。また、5月下旬にはミヤマキリシマが開花し、くじゅうの山々がピンク色に染まります。この大自然を満喫していただくために、この保全活動を充実させ、一人一人が満足いただけるよう取り組みます。



坂本 大分森林管理署長から辞令交付



益田 大分西部森林管理署長から辞令交付



保全活動に入る前に安全ミーティング



前期の保全活動がスタート

【 大分県 玖珠郡 九重町 長者原 】



保全活動 出発式



坂本 大分森林管理署長あいさつ（両森林管理署代表）



保全活動へ出発



保全活動へ出発